

# J-STAGE

## 2021年度取組・2022年度予定

令和4年3月11日  
JST 情報基盤事業部



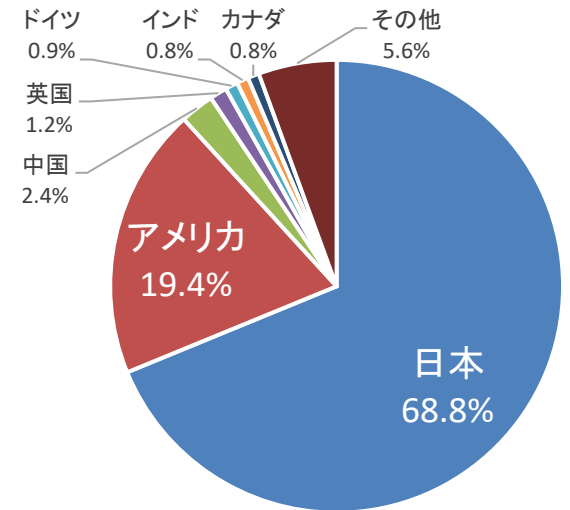
科学技術振興機構

# はじめに：J-STAGE概況

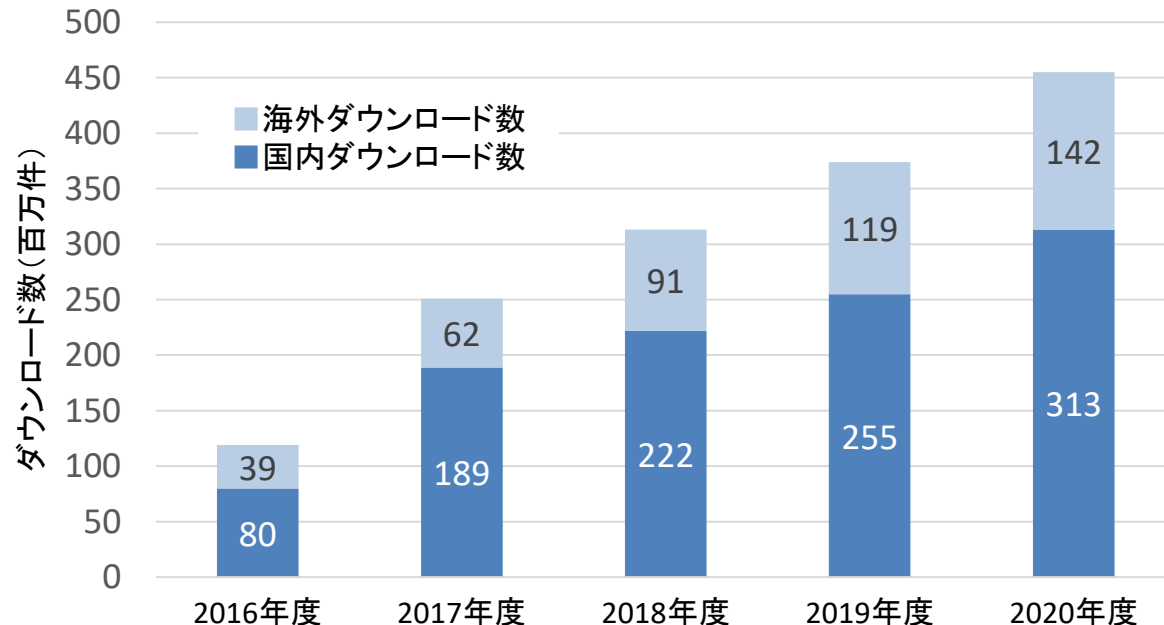
登載資料数・記事数の推移（年度末時点）

年度	2016	2017	2018	2019	2020	2021/12
利用機関数	1,172	1,348	1,499	1,687	1,855	1,977
登載資料数	2,103	2,584	2,804	3,056	3,262	3,434
記事数	3,098,307	4,520,537	4,822,409	5,013,892	5,202,407	5,327,049

国・地域別ダウンロード数  
(2020/4-2021/3)



ダウンロード数の推移



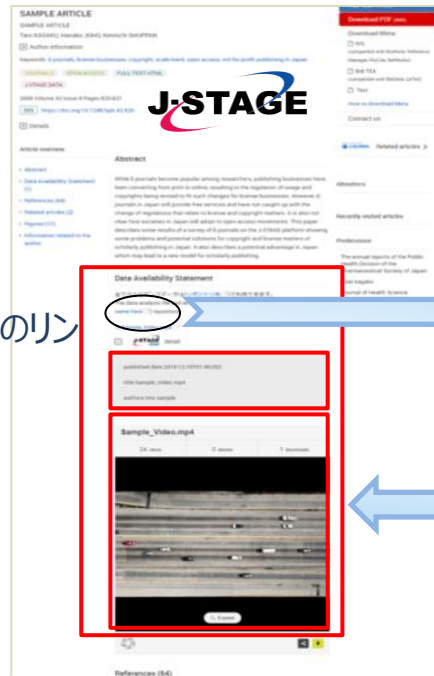
■ 日本	312.9 百万件
■ アメリカ	88.3 百万件
■ 中国	11.0 百万件
■ 英国	5.6 百万件
■ ドイツ	4.1 百万件
■ インド	3.8 百万件
■ カナダ	3.7 百万件
■ その他	25.4 百万件
-----	
合計	454.6 百万件

# はじめに: J-STAGE Data概況

## J-STAGE Dataとは

- J-STAGEの登録論文に関連するデータを登録・公開するデータリポジトリ
- 2020年3月リリース
- トップ画面 <https://jstagedata.jst.go.jp/>

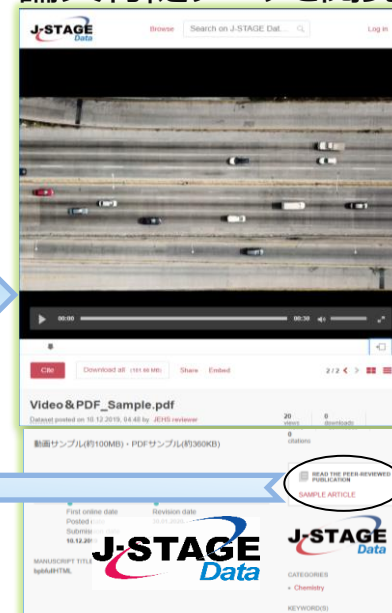
J-STAGEに論文付随データの情報を表示  
できます



J-STAGE Dataへのリンクをクリック



J-STAGE Dataへジャンプして  
論文付随データを閲覧

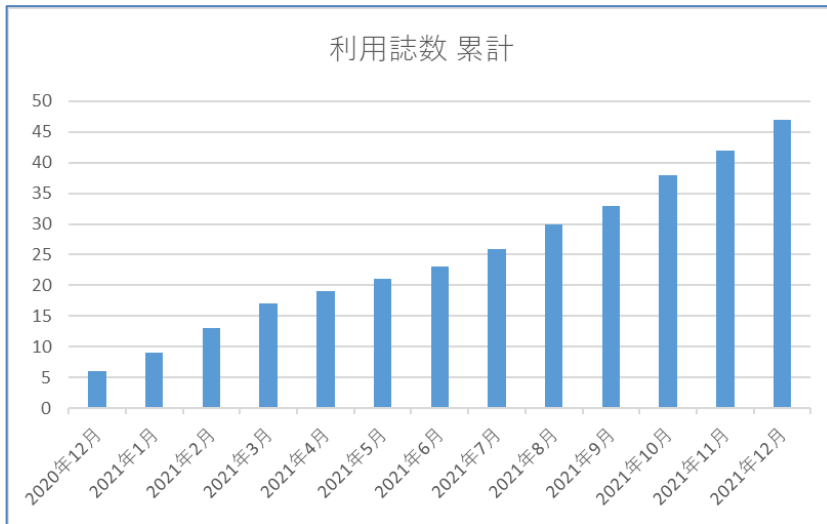


J-STAGE上の論文へのリンクをクリック

# はじめに：J-STAGE Data概況



- データ登録誌：16誌
- 参加申込誌：50誌（2021年度の申込数は39誌で、受け付け予定数であった30誌を大幅に超過！）
- 登録データ数：271件
- 累計ダウンロード数：18,303件  
(2022年2月末日現在)



## 過去1年間の閲覧数およびダウンロード数

👁️ 39,407 views

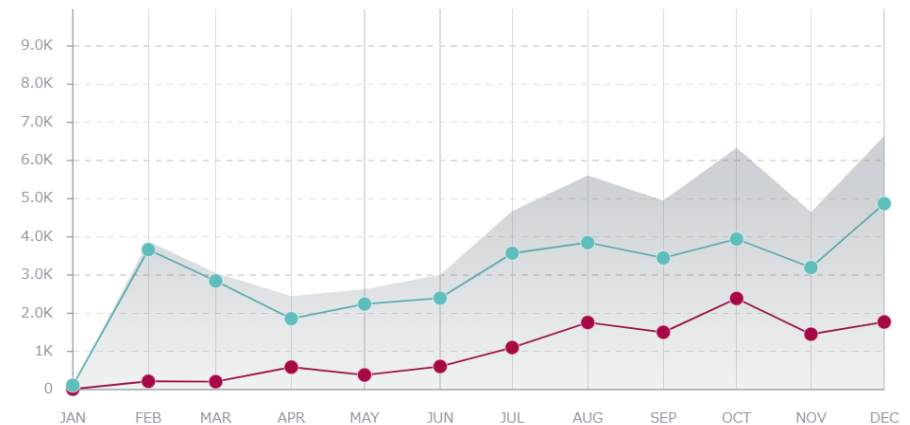
↓ 13,558 downloads

see by: Monthly view ▼

Views

Downloads

Total



# J-STAGE 2021年度の主な取組

## (1) システム関係

- ① 検索機能拡張
- ② システム可用性向上
- ③ 全文XML作成ツールの改修
- ④ 発行機関向けダッシュボード機能の開発
- ⑤ その他機能改善

※①、②は2021年9月にリリース済み、③～⑤は3月下旬リリース予定

## (2) サービス関係

- ① 利用規約改正
- ② J-STAGEセミナーの開催
- ③ ジャーナルコンサルティング
- ④ J-STAGEニュースの発行

# 2021年度の主な取組 (1) システム関係

## ① 検索機能拡張(2021/9/25リリース)

資料・記事検索機能を強化し、操作性が向上。

【改修内容の一部】

お気に入りジャーナルを検索します | ヘルプ

検索 全ての検索条件のリセット

**「指定検索」機能**

論文タイトル	▼	検索する語を入力してください	<input type="checkbox"/> NOT +
AND ▼	論文タイトル ▼	検索する語を入力してください	<input type="checkbox"/> NOT -
AND ▼	論文タイトル ▼	検索する語を入力してください	<input type="checkbox"/> NOT -
AND ▼	論文タイトル ▼	検索する語を入力してください	<input type="checkbox"/> NOT -

検索条件を翻訳する (翻訳対象は「論文タイトル」、「抄録」、「全文」、「キーワード」、「引用文献」のみです)  
● 指定しない ○ 日本語から英語へ ○ 英語から日本語へ

論文をDOIで検索する  
論文のDOIを入力  
10.XXXX/<number> 実行

クリックで検索方式を切り替え

**「検索式を入力」機能**

検索式を入力 構文チェック 指定検索

NOT条件を加えた検索

複雑な検索式の入力が可能

※機能の詳細はリリースノートをご覧ください。

[https://www.jstage.jst.go.jp/static/files/ja/pub\\_release\\_20210925\\_1.pdf](https://www.jstage.jst.go.jp/static/files/ja/pub_release_20210925_1.pdf)

# 2021年度の主な取組 (1) システム関係

## ② システム可用性向上 (2021/9/25リリース)

メンテナンス時も閲覧サービスを継続するメンテナンスモードをリリース。

メンテナンスのため、9/25(土)10:00~18:00の間、一部機能が制限されます。記事の検索・閲覧は可能です。  
メンテナンス情報の詳細はこちら

メンテナンスモード

ヘッダーにメッセージ表示  
(右側の×で非表示にできます)

ロゴ下部に「メンテナンスモード」と表示

利用できない機能のボタンはクリック不可に  
(マウスオーバーでメッセージが表示されます)

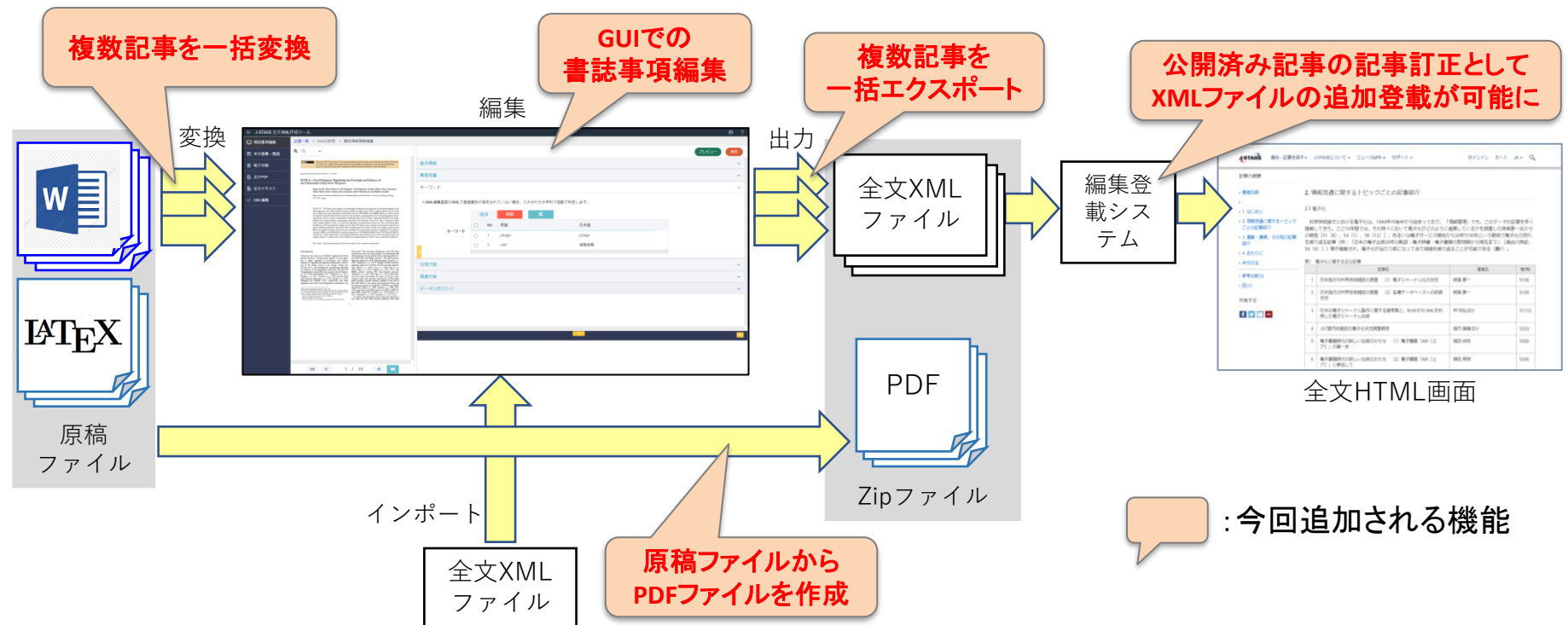
My J-STAGEにサインイン  
メンテナンス中のため、当機能は使用できません。

※機能の詳細はリリースノートをご覧ください。

[https://www.jstage.jst.go.jp/static/files/ja/pub\\_release\\_20210925\\_2.pdf](https://www.jstage.jst.go.jp/static/files/ja/pub_release_20210925_2.pdf)

# 2021年度の主な取組 (1) システム関係

- ③ 全文XML作成ツールの改修(2022/3月下旬リリース予定)  
機能追加により、従来より多角的・効率的な作業が可能。



全文XML化の導入効果: 閲覧性の向上、機械可読性の向上など。

全文XML作成ツールは編集掲載のメニューからご利用できます。

※機能の詳細はリリースノートをご覧ください。<https://www.jstage.jst.go.jp/>



# 2021年度の主な取組 (1) システム関係

- ④ 発行機関向けダッシュボード(2022/3月下旬リリース予定)  
ダッシュボードを通じて発行機関が自誌の利用状況を把握可能に。

## 【画面イメージ】



※機能の詳細はリリースノートをご覧ください。

<https://www.jstage.jst.go.jp/>

# 2021年度の主な取組 (1) システム関係

## ⑤ その他機能改善(2022/3月下旬リリース予定)

- 識別子情報の登録拡充: 書誌情報として以下の項目が登録可能に
  - 著者所属機関の複数の識別子情報(ROR IDなど)
  - 助成機関の複数の識別子情報(Crossref Funder ID※など) ※旧FundRef ID
  - 複数の助成金番号の個別登録が可能
  - ファンド情報の登録上限を拡大(最大50件)
- 編集登載システムにおける全文HTMLプレビューの待ち時間短縮
- 書誌画面における責任著者(corresponding author)情報の明示
- その他、画面表示仕様の調整、不具合の修正等

※機能の詳細はリリースノートをご覧ください。

<https://www.jstage.jst.go.jp/>

# 2021年度の主な取組 (2) サービス関係

## ① J-STAGE利用規約の改正(2021/12/20施行)

### 【主な改正点】

#### – JaLCメタデータオープン化に伴う改正

- 書誌データ、URI、引用情報、DOIは、目的・態様を問わず誰でも自由に利用可
- 抄録については、利用を許諾する対象を「不特定多数」「JaLC正会員、連携機関のみ」のいずれかから選択  
※編集登載システムにて「抄録ライセンスフラグ」の設定を行ってください。

#### – JaLC剽窃チェックサービスのJ-STAGEへの導入に伴う改正

- JaLC DOIの論文に対するJ-STAGE Similarity Checkサービスの開始に伴い、J-STAGE上のJaLC DOIを付した論文は自動的に同サービスのデータベースに収蔵される

#### – 書誌情報の著者情報を個人情報として扱う

- 論文の著者情報が個人情報であることに鑑み、著者情報の公開・表示等について規約中で言及

※規約の新旧対照表やJaLCにおけるアナウンス等、詳細は以下をご覧ください。

[https://www.jstage.jst.go.jp/static/pages/pub\\_Announce20211115/-char/ja](https://www.jstage.jst.go.jp/static/pages/pub_Announce20211115/-char/ja)

# 2021年度の主な取組 (2) サービス関係

## ② ジャーナルコンサルティング

### a) 英文誌…12誌参加

－ コンサルティング会社による多様な支援を提供

- ・ 投稿規程の改定(DOAJ掲載要件に準拠したOAへの転換)～DOAJ申請代行
- ・ 運営戦略と分析を伴ったOAへの転換
- ・ 新規OAジャーナルの創刊
- ・ データポリシーの評価
- ・ 編集委員会の発展(国際化)
- ・ ジャーナルインパクトファクター取得要件への準拠
- ・ PMC掲載要件への準拠
- ・ 投稿数の増加

### b) 和文誌…8誌参加

－ JSTによる改善活動の支援

- ・ DOAJ掲載要件に準拠するための改善活動の支援
- ・ DOAJ申請代行

### c) ミニセミナー…のべ122人参加

- － OAに関する基礎的な事項についてJSTより説明
- － 2021年10月～2022年1月まで月1回ずつ、計4回開催

# 2021年度の主な取組 (2) サービス関係

## ③ J-STAGEセミナーの開催

– 年間テーマ「研究成果発信の多様化とジャーナル」

- 第1回:「査読の改善に向けて」(240名参加)
- 第2回(STMとの共催):「研究公正、出版物、プレプリントの品質および査読の役割」(206名参加)

– オンラインセミナー＋YouTubeでのアーカイブ動画公開

※講演資料、開催報告書、アーカイブ動画へのリンクは「過去のイベント開催情報・配布資料」に掲載しています。

<https://www.jstage.jst.go.jp/static/pages/News/TAB4/PastIssues/-char/ja>

## ④ J-STAGEニュース:No. 46, 47, 48の発行

※「J-STAGEニュース」よりご覧いただけます。

<https://www.jstage.jst.go.jp/static/pages/News/TAB3/Page1/-char/ja>

# J-STAGE 2022年度の主な予定

## (1) システム関係

- J-STAGE登載データのチェック強化に係る改修

## (2) サービス関係

- 投稿審査システム利用規約改定(2022/4/1施行)

詳細は「投稿審査システムユーザーページ」をご覧ください。

<https://www.jstage.jst.go.jp/static/pages/InformationForSocieties/TAB3/-char/ja>

- J-STAGEセミナーの開催

開催日程や内容が決まり次第HP等でお知らせいたします。

- ジャーナルコンサルティング

参加募集については、対象となるJ-STAGE利用機関宛にメールにてご案内いたします。